

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会

蓼科情報は 誰もが心地よい
情報環境を提供します

リアルタイム管理の実現 シフト管理の充実
JUST FITな WEB勤怠管理システム



選べる2つのタイプ



Tateshina Intelligence Co., Ltd.
蓼科情報株式会社

〒115-0055 東京都北区赤羽西1丁目7番1号 パルロード3
TEL 03-5963-7281(代) FAX 03-5963-7287
ホームページ <http://www.tatesina.co.jp>

SAI-PRESS Vol.77 2013.7 Summer

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 住所/〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10 SSC 5F TEL/048-660-1761 FAX/048-654-4504 URL/<http://www.saisia.or.jp>

発行

印刷

関東図書株式会社

SAI-PRESS

サイプレス 2013.7 Summer

Vol. 77



第2回
定時総会・記念講演会・懇親会開催
埼玉県への情報化推進に関する提言書提出

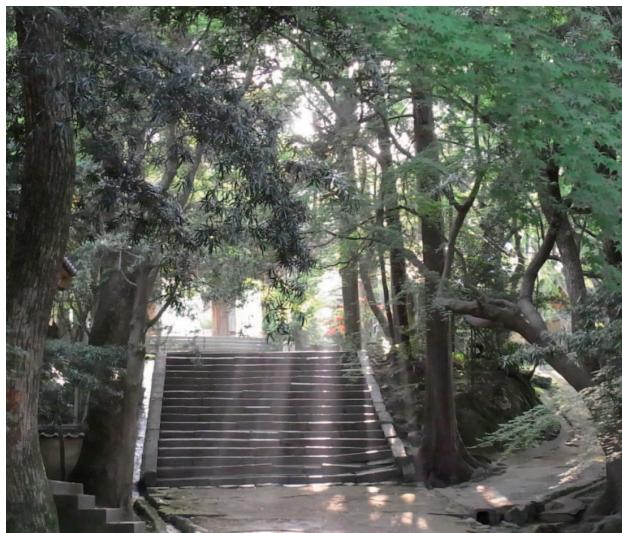
ホームページコンテスト2013開催案内
彩の国ビジネスアリーナ2014開催決定

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 住所/〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10 SSC 5F TEL/048-660-1761 FAX/048-654-4504 URL/<http://www.saisia.or.jp> 発行人/埼情協広報部会 印刷/関東図書株式会社

GALLERY

GALLERY

春の花のスナップ写真と花言葉



(長府) 国宝功山寺山門(国宝) : 緑と木漏れ日。鎌倉時代創建、唐様建築で、わが国最古の禅寺様式。



(長府) 現在見る町並みは、毛利氏が藩政時代に築かれた大小数々の武家屋敷跡(緑いっぱい)



(萩) 幕末維新の三傑の一人、木戸孝允の生家。木戸孝允旧宅



(萩) 駅舎は上りホーム側にあり、現在鉄道記念館(資料館)



(萩) 幕末の思想家、吉田松陰が実家の敷地内に建て1年ほど講義の場所として使う



<芝桜とハナミズキ…あなたへの返礼、燃える恋>



<チューリップ…博愛>



<フジ…歓迎>



<牡丹…王者の風格>



SISIA

SAL-PRESS**Vol. 77****2013. 7****summer**

いつも新鮮 SISIA のコンテンツ

<http://www.sisia.or.jp/>

広告掲載企業

一覧

掲載順

● ミツイワ(株).....	3	● A G S (株).....	25
● 三田電子ケイサン(株).....	7	● (株)アイネット.....	29
● (株)三和システムフォーム.....	8	● (株)デマンドアンドコミュニケーションズ.....	31
● (株)フジミック埼玉.....	10	● パシフィックシステム(株).....	34
● ぶぎんシステムサービス(株).....	14	● 中央情報専門学校.....	34
● (株)ハツコーエレクトロニクス.....	17	● (株)埼玉電算センター.....	34
● (株)ソルパック.....	19	● A G S ビジネスコンピューター(株).....	34
● (株)日東テクノブレーン.....	19	● 関東図書(株).....	35
● ノグチコンピュータサービス(株).....	19	● エレクス(株).....	35
● 日研システム(株).....	19	● 蓼科情報(株).....	表 4
● (株)ティー・アイ・シー.....	20		

**第2回定期総会・記念講演会・懇親会
—開催される** 2

埼玉県への情報化推進に関する提言書提出 20

<彩の国ビジネスアリーナ2014>を開催 24

**<第18回彩の国ホームページコンテスト2013>
開催** 26

**[地域連携事業]
埼玉県自治体クラウドセミナー開催報告** 27

**システム技術部会 活動報告
平成25年3月～平成25年5月** 30

行事報告 32

会員企業動向 32

**ポリテクセンター埼玉
オーダーメイド型セミナーのご案内** 33

編集後記・編集委員 36

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 第2回定期総会・記念講演会・懇親会 —開催される



昨年4月1日より埼玉県知事の認定を受け、公益社団法人としてスタートし、1ヵ年が経過し「平成24年度事業報告書並びに収支決算書」などを審議する第2回総会が6月13日午後2時よりサンパレス大宮にて開催されました。雨天にもかかわらず正会員81社のうち66社（含む委任状）の出席により、小川会長が議長となり議事が進行され、第1号議案「平成24年度 事業報告書案」並びに、第2号議案「平成24年度 収支決算書案」第3号議案「理事選任の件」は満場一致で賛成されました。総会終了後の理事会において平成25年度役員が理事の互選により選任されました。

続いて、午後3時「記念講演」が富士通総研エグゼクティブ・フェロー根津利三郎氏より「アベノミクス、TPP等最新経済情勢」と題して開催され、会員以外の皆様が多数参加され1時間40分にわたり、根津氏より日本の現状を踏まえ、将来の展望について多くの課題と示唆をいただきました。



富士通総研経済研究所

エグゼクティブ・フェロー 根津 利三郎氏



そして午後5時「公益社団法人化記念パーティー」が開催されました。

来賓として経済産業省関東経済産業局情報政策課長 北原 明 様・一般社団法人情報サービス産業協会広報部長 手計 将美 様ほか経済団体・情報サービス産業団体の幹部の皆様をお迎え、また特別講演会の根津様にも出席いただき、交流・親睦を深めることができました。

関係各位に心から厚く御礼申し上げます。



総会風景

平成24年度事業報告

自：平成24年4月1日～至：平成25年3月31日

当協会は平成22年度より検討を重ねた「公益社団法人化」について、平成23年10月の臨時総会にて「公益社団法人」として申請することが決議され、県当局に申請しました。4ヶ月の折衝・審議の結果平成24年2月27日「埼玉県公益認定等委員会」の答申に基づき、3月22日埼玉県知事より「公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会」の認定書が交付されました。

平成24年4月1日より「公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会」として新たにスタートし、その第1回総会が6月12日午後2時よりパレスホテル大宮にて開催されました。雨天にもかかわらず正会員72社の出席により、小川会長が議長となり議事が進行され、第1号議案「平成23年度 事業報告書案」並びに、第2号議案「平成23年度 収支決算書案」は満場一致で決議されました。続いて、午後3時「記念講演」が前人事院総裁 江利川 毅氏より「日本の明日を語る」と題して開催され、会員以外の皆様が多数参加され1時間50分にわたり、江利川氏より日本の現状を踏まえ、将来の展望について多くの課題と示唆をいただきました。そして午後5時より「公益社団法人化記念パーティー」が開催され、来賓として埼玉県副知事 塩川 修様、さいたま市理事・情報統括監 岡田 博之様、総務省関東総合通信局情報通信連携課長 吉森 広光様、経済産業省関東経済産業局情報政策課長 竹村 勝様、(一社)情報サービス産業協会副会長 河野 憲裕様ほか、経済団体・情報サービス産業団体の幹部の皆様をお迎え、また特別講演会の江利川様にも出席いただき、130

余名の参加を得て交流・親睦を深めることができました。関係各位に改めまして心から厚く御礼申し上げます。

さて、我が国経済は今年度も23年度に続き、東日本大震災・福島原発事故の影響、電力料の値上げ、円高、欧州政府債務危機、政治の混迷問題などにより様々な逆風に見舞われ深刻な打撃を受けました。そして、昨年11月の総選挙により政権が自民党に交代し、安倍内閣が発足しました。安倍内閣は日本経済再生・デフレ脱却を旗印に所謂「アベノミクス3本の矢－大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略」を柱とする経済政策を採用、日本銀行総裁に黒田東彦氏を任命し、日銀はデフレ脱却のため2年間で2%のインフレ目標を掲げ大胆な金融緩和を打ち出し円は対ドル100円に近くの円安となり、ドル日経平均株価も15,000円をこえる水準に回復した。しかし我々IT業界はリーマンショック以降低迷が続き未だそれを脱却した状況になっていない。

政府は平成25年3月28日に安倍総理のもと「IT戦略本部・IT政策」会議を開催した。

安倍総理は「省エネ社会の実現、遠隔医療の実現、自宅で働ける環境の整備等幅広い分野でIT技術が活用される世界最高水準のIT社会を実現するべく、IT政策の立て直しを検討すること」を指示した。これを受け政府は新たに「IT戦略起草委員会」を設置、新IT戦略の取りまとめを始めた。

我々IT業界として大いに期待するものであります。

すべては、お客様の「満足」のために

All for Our Customers

ITサービスを通じてお客様の問題解決を図り、ミツイワは社会への貢献を続けています。

ミツイワ株式会社
 mitsuiwa

<http://www.mitsuiwa.co.jp>

本 社
関東営業部

東京都渋谷区渋谷3-15-6
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-4-1

TEL:03-3407-2181
TEL:048-824-5911

(1) 人材育成事業

①情報通信人材研修事業 5コース開催

- ・Excelによるデータ活用（集計編）
開催日 平成24年9月7日(金) 参加者 17名
- ・Excelによるデータ活用（分析編）
開催日 平成24年9月12日(水) 参加者 11名
- ・アプリケーションテスト 実践トレーニング
開催日 平成24年10月11日(木)～12日(金)
参加者 12名
- ・プロジェクトマネジメント技法の実践
開催日 平成24年10月18日(木)～19日(金)
参加者 11名

②埼玉大学との連携強化 埼玉大学提携講座

「情報と職業」

埼玉大学工学部情報システム工学科での提携講座「情報と職業」は今年で6年目を迎えました。今年は協会から6名の講師を派遣し、情報業界に限らず、広く職業とは何かについて講義しました。

講義は金曜日の9・10時限（16：20～17：50）に行われ、講義終了後は担当の池口教授と学生との懇親会が開かれました。

日程	担当講師	テーマ
5月11日	今井 明理事・深澤 陽平氏（蓼科情報）	ある中小ソフトハウスの事例
5月25日	松島 純理事（デマンドアンドコミュニケーションズ）	人間学講座
6月10日	藤田 勉氏（ソルパック）	ITベンチャー企業家論
6月29日	岡本 比呂志理事（中央情報専門学校）	職業とキャリアを考える
7月6日	小川 修一会長（AGS）	ITサービスプロバイダ企業の経営について

③e ラーニングの活用

- ・日本ソフトウェア協会と共に 埼玉県情報通信人材育成事業 参加企業：5社

(2) 地域情報化推進事業

①「彩の国ビジネスアリーナ2013」

今年で10回目の記念すべき「彩の国ビジネスアリーナ2013」が、1月30日(水)、31日(木)さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）において埼玉県・公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会・財団法人埼玉県産業振興公社・地元6金融機関の主催にて開催されました。

本イベントは、中小企業の受注確保・技術力向上等を目的とし、広域的な企業ネットワーク形成による取引・技術交流の促進、新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

本年は、昨年を上回る83小間の展示ブースを設け、「次世代産業」、「加工技術・部品」、「製品」、「ITソリューション」、「エネルギー・環境」、「グローバルビジネス」と、多様なゾーンを展開し、556企業・団体が出展した。

また、「次世代産業ゾーン」では、招待出展企業として、「宇宙航空」、「次世代自動車」、「医療福祉」、「エネルギー・環境分野」の先端企業様に最新の技術・製品を展示され、出展者や来場者との交流を図られた。

当協会は地域連携事業の一環として、従来の「IT・情報通信」を改名し「ITソリューションゾーン」を設営し、37社45小間が出展、特設のプレゼンコーナーでは6社がプレゼンスを行うとともに「IT何でも相談コーナー」を設置しIT利活用の推進・企業IT動向調査を実施した。

来場者は2日間で16,478名（初日：8,823名、2日目7,664名）という過去最高を記録するなど、企業間取引における国内最大級の展示商談会となった。

会場内講演会場では当協会主催で「中小企業のビジネス革新」と題して、ソフトバンク・モバイル社の首席エヴァンジェリストの中山五輪男氏による講演を開催150人余の参加を得た。

また、同時開催イベントとしてウーマノミクスフェア、産学連携フェアをはじめ、下請取引改善講習会、埼玉県ビジネス懇談会、ながのモノづくり技術展、九都県市合同商談会、産学連携促進会といった多数のイベントが催され、会場は大いに盛り上がった。

<彩の国ビジネスアリーナ2013開催事業実績>

- ・開催日時：平成25年1月30日(水)10:00～18:00
31日(木)10:00～17:00
- ・開催場所：さいたまスーパーアリーナ
(埼玉県さいたま市中央区新都心8番地)
- ・主 催：埼玉県、財団法人埼玉県産業振興公社、
公益社団法人埼玉県情報サービス産協会、株式
会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼
玉県信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、
青木信用金庫
- ・共 催：公益財団法人埼玉りそな産業経済振興
財団、財団法人全国中小企業取引振興会埼玉県
信用保証協会、(公益財団)茨城県中小企業振興
公社、(公益財団)栃木県産業振興センター、(公
益財団)群馬県産業支援機構、(公益財団)千葉
県産業振興センター、(公益財団)長野県中小企
業振興センター、(公益財団)東京都中小企業振
興公社、財団法人にいがた産業創造機構
- ・後 援：経済産業省関東経済産業局、さいたま
市、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本
部、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援
機構埼玉職業訓練支援センター、日本貿易振興
機構(ジェトロ)関東貿易情報センター、株式
会社日本政策金融公庫さいたま支店、一般社団
法人情報サービス産業協会、社団法人埼玉県商
工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県
中小企業団体中央会、埼玉経済同友会、社団法

彩の国ビジネスアリーナ2013 講演会等

実施日時	演 題	講 師	参加者 数
30日	13:00～ 14:30 目標達成へのプロセス ～チームワークと コミュニケーション～	プロサッカー監督 佐々木 則夫 氏	259人
	15:00～ 16:30 中小企業のビジネス革新 事例で学ぶ iPhone・iPad の効果的活 用法	ソフトバンクモバイル(株) 首席エヴァンジェリスト 中山 五輪男 氏	150人
31日	11:00～ 12:30 NITTOKU マーケット戦略	日特エンジニアリング(株) 代表取締役社長 近藤 進茂 氏	78人
	13:00～ 15:00 JAXA タウンミーティング 日本の宇宙開発と宇宙産業	宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部参与 横山 哲朗 氏 産業連携センターチーム長 渡戸 満 氏	110人

人埼玉県経営者協会、朝日新聞さいたま総局、
埼玉新聞社、産経新聞社さいたま総局、テレビ
埼玉、日刊工業新聞社さいたま総局、日本経済
新聞社さいたま支局、フジサンケイビジネスア
イ関東総局、NHK さいたま放送局、毎日新聞
さいたま支局、読売新聞さいたま支局

- ・来場者数：16,487人(前回15,491人)

初 日 8,823人(前回 7,379人)

2日目 7,664人(前回 8,112人)

・実施概要：

- (1) 出展者による技術・製品・サービスの展示
出展者が自社製品・加工品を展示し、自らの
技術力を積極的にアピールするとともに、来場
者との商談や出展者間における情報交換・商談
等を実施

ア 出展者数 556企業・団体

(前回538企業・団体)

イ 出展小間数 783小間(前回717小間)

- (2) 講演会等の実施

最新の技術動向や企業経営に資するテーマの
講演会等を実施(下表参照)

・同時開催イベント

- (1) 30・31日 ウーマノミクスフェア
～子育て・仕事をがんばる女性を応援します～
- (2) 30・31日 産学連携フェア
- (3) 30・31日 ながのモノづくり技術展2013
in さいたま

- (4) 30日 埼玉県ビジネス懇談会
 (5) 30日 産学連携促進交流会
 (6) 31日 九都県市合同商談会
 in さいたまスーパーアリーナ
 (7) 31日 下請取引改善講習会

も県内外より広く応募者があり平成24年1月17日多くの来賓を迎えて表彰式が行われ、県知事賞を始めさいたま市長賞・総務省関東総合通信局長賞・経済産業省関東経済局長賞等が授与された。

- ・公募期間：平成24年5月1日～10月10日
- ・表彰式：平成25年1月17日
- ・最終審査：11月17日

応募総数：76作品・参加者113名

②第17回「彩の国さいたまホームページコンテスト2012」

当協会のイベントとして知名度も向上し、今年度

＜ホームページコンテスト2012受賞者＞

賞	作品タイトル	氏名	人数	学校名・企業名(グループ名)
埼玉県知事賞	受験生、作曲家になる。	山根 春香	1	幸手市立幸手中学校
さいたま市長賞	小江戸散策	近藤 啓史他	4	会社員
総務省 関東総合通信局長賞	集中豪雨対策ネット	濱田 真澄他	3	一般社団法人アーシタン
経済産業省 関東経済産業局長賞	ひばりの挑戦 ～富士吉田のためにできること～	小佐野伊吹他	3	山梨県立ひばりが丘 高等学校
小・中学生の部・最優秀賞	雷	寄川 直輝	1	松伏第二中学校
小・中学生の部・優秀賞	コンピュータについて	太田 弘樹	1	松伏第二中学校
高校・大学・専門学校 の部・最優秀賞	ひばりの挑戦 ～富士吉田のためにできること～	小佐野伊吹他	3	山梨県立ひばりが丘 高等学校
高校・大学・専門学校 の部・優秀賞	地球を守ろう エコライフ！	松田 弘樹	1	県立浦和工業高等学校
一般の部・最優秀賞	庭園都市、京都をゆく	山谷 幸司	1	自営業／kyotocycle
シニアの部・最優秀賞	週末ウォーキング	西田 忠夫	1	(株)スカイソフト／情報サービス
協会会員の部・ 最優秀賞	はじめよう禁煙 ～実は自己分析が大切!?～	深町 翔太	1	(株)フジミック埼玉
協会会員の部・優秀賞	Art of nature	牧田 大輝	1	AGS(株)
富士通賞	受験生、作曲家になる。	山根 春香	1	幸手市立幸手中学校
キリンビール賞	ネオジム磁石	山内 里久他	4	中央情報専門学校 CCMC ネオジム同好会
FM NACK 5賞	はじめよう禁煙 ～実は自己分析が大切!?～	深町 翔太	1	(株)フジミック埼玉
埼玉新聞社賞	我家を彩る花と花言葉	大出 教雄	1	会社員
日刊工業新聞社賞	地球を守ろう エコライフ！	松田 弘樹	1	県立浦和工業高等学校
サンケイリビング新聞 社賞	ひばりの挑戦 ～富士吉田のためにできること～	小佐野伊吹他	3	山梨県立ひばりが丘 高等学校
大宮アルディージャ賞	はじめよう！ 少林寺拳法	藤田 ひとみ	1	AGS(株)
浦和レッドダイヤモンズ賞	日本の河川	会田 樹希	1	松伏第二中学校

③埼玉県立工業学校プログラムコンテスト大会

「埼玉県立工業高校プログラミングコンテスト」は23回を数え、工業高校等に学ぶ生徒に創造力を發揮した新鮮な発想でのプログラミングの作成を通じて、次代を担うスペシャリストとしての資質の向上を目的に11月に開催されている。その上位入賞者は全国大会に出場する。

当協会は趣旨に賛同し審査委員派遣・協賛金など後援団体として支援している。

④「セミナー」「ビジネス交流会」の開催

- ・タイムリーなテーマを選定し、新ビジネス展開・会員相互のビジネス情報の交流を推進する。
- ・商工会議所などの経済団体と連携し、県内企業のIT利活用促進を図る。

(1) <経営者セミナー>

NPO 法人埼玉 IT コーディネータと共に

開催日：平成25年2月8日

場 所：さいたま市浦和コミュニティセンター

参加者：35名

このセミナーは毎年度末に埼情協と NPO 法人埼玉 IT コーディネータが共催して開催するもので、本年度で通算5回目になります。毎年、総務省・経済産業省をお招きし新年度の情報通信関連施策を説明していただいている。

今回は会員企業・ITコーディネータ45名の参加を得て、両省の課長からは重点施策である「経済再生」とともに、それぞれ「ICTを活用した成長戦略」

(総務省)、「ITと融合した新たな産業創出」(経済産業省)、と日本再生のための情報・通信の役割を推し進める施策の説明をしていただきました。

又、総務省吉森課長からは「戦略的情報通信研究

開発推進事業」、特に「地域 ICT 振興型研究開発」をテーマにしたプログラムに、「来年度に埼情協として是非応募を」との提案をされました。

経産省北原課長からは埼情協も参加した24年度の広域関東地域クラウド推進事業の取り組みについての報告と、ITを活用した付加価値の向上・IT社会における安全性、信頼性を確保するための基盤整備について、経産省の25年度政策の説明と、引き続き埼情協には地域 IT 利活用促進施策への協力を、とのお願いがありました。

三人目の講師：(一社)情報サービス産業協会の手許部長からは「情報サービス産業の現状・課題について」をテーマに講演していただきました。

(2) <ビジネス交流会>

イ 開催日：平成24年7月11日

場 所：ソニックシティ 参加者：37名

セミナー：

「My 帳票基盤サービスについて」

ミツイワ株式会社

「人事給与勤怠ソリューションについて」

AGS 株式会社

講 演：「IaaS クラウドシステムについて」

講 師：ニフティ(株)

クラウド事業部 川嶋 穂 氏

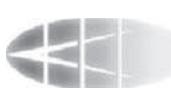
□ 開催日：平成24年9月21～22日

場 所：越生「ニューサンピア埼玉おごせ」

参加者：14名

9月21日にビジネス部会主催の一泊研修会が開催されました。過去定例的に一泊研修会は行われていたとのことですが、久しぶりの開催となった。

越生の山の中にある「ニューサンピア埼玉おごせ」に14名の部会員が集い定刻14時に山崎部会長の



三田電子ケイサン株式会社

お電話でのお問い合わせはこちら

03-5983-8160

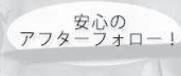
人と企業を結ぶ架け橋に――



豊富な求人情報!



充実のサポート!



安心の
アフターフォロー!

一般労働派遣業 許可番号 般 13・090088

あいさつにて開会。第一セッションはセールスフォース・ドットコムの岩永龍法氏より同社のサービス事例を中心にクラウド時代における一つのビジネスモデルをご紹介いただきました。契約の形態は複数あるようですが、同社の提供する環境を活用し、会員企業においてカスタマイズしたサービスを販売するモデルは充分検討に値すると感じた。

郵政グループ30社、100,000人での活用から小規模のユーザまで5,000社を超える利用事例はたいへん参考になるものでした。国内中堅・中小企業の事例は①北区敦賀様（モバイルを活用した営業活動の見える化と共有で売り上げ、利益向上を実現）②ファイナンシャル・インスティチュート様（顧客対応をプロセス化し、機会損失を大幅に削減）③株式会社陣屋様（ソーシャルメディアと連携したきめ細やかなサービス提供による顧客満足度の向上）④日本オプロ株式会社様（自社製品をグローバルに展開することで新たな販路を拡大等、具体的な各社の取り組みが面白かった。休憩をはさみ、公認会計士秦美佐子氏による「本当にいい会社が一目でわかる経営指標の読み方」ということで、上場企業が発表している有価証券報告書（略して「有報」というそうです。）を読み解く方法について勉強。講義の中では、「スターバックス」「ドトール」「サンマルク」の有報をもとに①株を買うならどの会社？②就職するならどの会社？③営業するならどの会社？というテーマで演習を行いました。そのほか有報の【従業員の状況】や【設備の新設、除去等の計画】などの様々な情報をもとに企業の状況についての勉強になりました。17時過ぎまでみっちり勉強し第一部は終了。第二部は施設内の宴会場にて懇親会を実施しました。講師の方々にも参加いただき、いろいろな話

で皆さん盛り上がりました。

翌日はビジネス部会のコンペが「アドニス小川カントリークラブ」にて開催され、ウィンテックの角田様がベスグロで優勝されました。次回幹事は角田様とエイ・ケイ・システムの浅井様となりました。

⑤地域連携事業（JISA 後援事業）

23年10月（一社）情報サービス産業協会の後援事業である地域連携事業に関東において当協会が選ばれ、北海道・宮城・関西・福岡・熊本の情報サービス産業団体と情報交換・連携し本事業を推進することになり支援機関との連携体制のキックオフが実現した。平成24年2月16日第一回埼玉IT利活用支援ネットワーク会議キックオフミーティング開催、主旨に賛同した12機関が参加し活発な意見交換が行われた。

参加団体は以下のとおりである。

総務省 関東総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課、経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 情報政策課、埼玉県 産業労働部 産業支援課、商業・サービス産業支援課、埼玉県 創業・ベンチャー支援センター、財団法人埼玉県産業振興公社、埼玉県中小企業団体中央会、社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、さいたま市 経済局経済部経済政策課、一般社団法人情報サービス産業協会

⑥「新産業支援機関」に参画

埼玉県・さいたま市の創業・ベンチャー支援事業の支援機関として、IT業界に起業・進出したい人に対する相談・技術支援などを行う。

印刷

みんなが喜ぶ SANWA の

地域社会貢献 三方よし 広告印刷

公用封筒に広告を載せてみませんか！ SANWA

- ・役所公用封筒
- ・広告入り公用封筒
- ・広告入りクリアファイル
- ・ダイレクトメール印刷
- ・イラスト名刺・3D名刺
- ・フルカラー封筒・はがき
- ・カタログ・会社案内

- ・コンピュータ帳票
- ・OCR、OMR帳票
- ・圧着はがき
- ・ラベル・シール
- ・感熱ロール・レジロール
- ・OAサプライ用品
- ・トナー・リサイクルトナー

- ・ユニフォームプリント
- ・タペストリー・のぼり・のれん・うちわ
- ・飲食店メニュー・ショップカード
- ・小ロットカラーチラシ・リーフレット
- ・大判ポスター
- ・OAファニチャー

- ボリオ（小児まひ）撲滅運動に協力しています。

- ・クリヤーファイル
- ・ホームページ作成
- ・各種カード
- ・各種贈答品
- ・ノベルティ商品（販促品）
- ・事務用品・事務機器
- ・看板、デジタルサイネージ 他

株式会社 三和システムホールディングス
<http://www.sanwa-s-f.co.jp/>

■ 本 社 〒342-0001
埼玉県吉川市上内川228番地1
TEL 048(992)0809(代)
FAX 048(992)1015

■ 営業本部 〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-1-10
カネヒロビル 8F
TEL 03(5833)3800



⑦ 「IT なんでも相談室」の設置

政府・県の施策に協力して、中小事業者の IT 投資・情報化等についての相談窓口を事務局に設置。

専用電話 048-660-1788

(3) 調査研究事業

①地方公共団体情報化施策動向に関するアンケート調査

県下の地方公共団体を対象に情報化動向を把握し、地域情報化戦略立案や情報化計画策定等情報提供と地域情報産業の技術力向上をサービス目的として実施。

- ・平成25年2月 対象 県内63市町村
- ・調査報告：平成25年4月発行「SAI-PRESS76号」に掲載

②県内企業アンケート調査

県内企業を対象に情報化動向及び、情報化の及ぼす労働状況を把握し、これらの情報を提供することにより、地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施。

- ・「彩の国ビジネスアリーナ2012」開催時1月に出展企業を調査
- ・調査報告：平成25年4月発行「SAI-PRESS76号」に掲載

③プロジェクト管理技術・開発方法・先進 IT の研究

- ・部会月1回 年12回開催
- ・研修合宿：平成24年11月3～4日 秩父・今宵荘にて参加者9名
- ・活動報告書作成：SAI-PRESS73・74・75号に掲載

(4) 啓蒙・普及事業

①広報誌「SAI-PRESS」の定期発行：年4回

協会の動向を外部にアピールし、協会の知名度をより一層向上させる為、県内唯一の情報サービス産業公益法人として積極的な情報発信を行う。

- ・SAI-PRESS72号(4月) 73号(7月) 74号(10月) 75号(1月) 発行

②「SAI-PRESS 速報」の発信

協会に送られた「情報・ニュース・案内」などを会員にメールにて適宜送達。

③協会ホームページの運営について

適宜情報内容の更新を行う。

(5) 産・学・官交流事業

①情報サービス産業振興のために、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省等及び JISA・ANIA 等関係諸団体・埼玉大学・オープンイノベーションセンターをはじめとする県内大学、産学官交流協議会等への参画、国際交流等を行う。

- ・「広域関東圏産業クラスター推進ネットワーク」に参画
- ・世界情報技術会議(WCIT2012) カナダ・モントリオール大会
開催日：平成24年10月22～24日 参加者14名
活動報告：平成25年1月発行「SAI-PRESS75号」に掲載

- ・第34回全情連(ANIA) 宮崎大会
開催日：平成24年11月7日～11日
参加者：16名
活動報告：平成25年1月発行「SAI-PRESS75号」に掲載

- ・アジア・オセアニア IT 産業会議(ASOCIO) - ICT Summit 2012
開催日：平成24年11月15日～17日
開催場所：スリランカ・コロンボ大会
参加者：10名
活動報告：平成25年1月発行「SAI-PRESS75号」に掲載

- ・NPO 韓国テクノマート 金会長他来協
平成25年1月17日 賀詞交歓会に参加
- ・東京・神奈川・千葉及び山梨など近隣諸県の情報サービス産業協会との連携を強化し、幹部会・交流会・研修などの行事を推進

<首都圏情報サービス産業団体協議会・幹部会>開催（今回幹事：東京）

3月7日埼玉・東京・神奈川・千葉・山梨の1都4県の情報サービス産業団体で構成する首都圏情報サービス産業団体協議会幹部会が東京霞ヶ関の東海大学校友会館で開催されました。当協会から小川会長はじめ4名が出席し、情報交換・交流を行った。

〈出席者〉

(埼玉) 小川会長、鈴木副会長、増古副会長、岩寄常務理事
(東京) 河合会長、根本副会長、工藤常務理事、奥田理事、與良理事、高橋事務局長
(神奈川) 池田会長、富澤副会長、野木副会長、森副会長、内藤専務理事、前田事務局長
(千葉) 野澤会長、武次副会長、水上常務理事、岩波事務局長、田村参与、鈴木氏
(山梨) 飯室会長、河澄専務理事、井上理事
以上25名

1. 各団体報告

- ・(一社) 神奈川県情報サービス産業協会(KIA) 報告
会員は微減に止まった。社員や家族を対象にした参加型イベントが盛況なことも原因と考える
- ・社団法人埼玉県情報サービス産業協会(SISIA) 報告
埼玉県に対し公益社団法人へ申請を行い、認可される見込み。4／1より公益法人に移行
- ・社団法人千葉県情報サービス産業協会(CHISA) 報告
会員はかなり減少。実践型人材養成システム等教育活動を強化。事務局長交代報告など
- ・社団法人山梨県情報通信業協会(YSA) 報告
一般社団法人へ移行、4／1登記予定。Android ソフトコンテスト、企業ガイダンス等を実施
- ・一般社団法人日本ソフトウェア産業協会(NSA) 報告
会員減少に苦慮している。

一方、その中で昨年は44のイベントに1,285社2,314名が参加した。

2. ビジネス交流会について

- ・CHISAよりNSAと共に開催しているビジネス交流会に関し、首都圏5協会へ共同出展が提案された。各団体3～4社が出展し、参加も全協会会員に呼びかける内容。詳細は今後案内される予定
- ・今回は共同出展依頼だが、将来的には5団体での共同開催についても検討
- ・基本的には異論がなく提案は承認された

3. 将来に向けた取り組みについて

- ・首都圏会員共通の公開型のイベントを増やすことも必要
- ・若者と協会活動にギャップがある、若者が興味をもつような活動が重要
- ・フットサルなど親睦イベントを県対抗で実施するのはどうか
- ・会の外に向けたプレゼンスも向上させるべき
- ・パネルディスカッションなど経営者層のコミュニケーションを行う場を創りたい
- ・中小企業振興公社、中小企業団体中央会、商工会議所などを連携する「地域ICT利活用・ネットワーク」の活用に着手

- ・「埼玉県GIS普及推進研究会」への参画
- ・(株)さいたまソフトウェアセンターとの連携終了
平成3年にIT人材育成・IT産業振興を目的に設立された第3セクターである(株)さいたまソフトウェアセンタービルが、平成24年3月31日(一財)さいたま市都市整備公社に売却された。
- ・国土地理院埼玉地域地理空間情報産学官連携協議会委員会：平成24年2月29日

経営戦略に基づいたシステムの立案から構築、運用・保守まで、あらゆるご要望に對して最適なサービスをご提供します。



株式会社 **フジミック埼玉**

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-252 ユニオンビル2階
TEL : (048) 647-9200 FAX : (048) 647-9206
URL : <http://www.saitama.fujimic.com/>

②新年賀詞交歓会：

平成25年1月17日 パレスホテル大宮にて開催
諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の
交流、拡大を図る 参加者 137名
同日、第17回「彩の国さいたまホームページコン
テスト2012」の表彰式を行う。

(6) 福利厚生事業

①第19回ボウリング大会

恒例のSISIA ボウリング大会が2月15日(金)に川
口スプリングレーンズにおいて、盛大に開催されま
した。ボウリング大会も19年連続の開催で22チーム、
88名の参加のもと熱戦が繰り広げられ参加会員企業
皆様の親睦と交流が図られました。

「団体戦」(会社名／参加者名) 敬称略

優 勝 AGS(株)：三浦 隆・笠原 由美子・
中須 祐一・平田 尚

準優勝 ぶぎんシステムサービス(株)
：堤 秀夫・大澤 正幸・小林 啓之・
辻 勝弘

3 位 豊科情報(株)：新井 裕輝・星 信幸・
重田 麻衣・三上 舞

「個人戦」(選手名／所属) 敬称略

優 勝 堤 秀夫：ぶぎんシステムサービス(株)

準優勝 笠原 由美子：AGS(株)

3 位 古澤 康之：ぶぎんシステムサービス(株)

②第17回チャリティゴルフコンペ

平成24年9月25日

高麗川カントリー倶楽部にて開催 参加者31名
猛暑が去った初秋の24年9月25日、恒例の第17回
チャリティゴルフコンペが高麗川カントリークラブ
で開催されました。

当日は寄付金のための罰打ルールが設けられ、罰
打ルールが適用されない皆さんを含め多くの善意が
寄せられました。チャリティで集まりました寄付金
(74,000円)は社会貢献団体に寄贈致します。

優 勝 原田 薫氏 三田電子ケイサン(株)
ネット71.6

準優勝 関 栄一氏 (株)ハツコーエレクトロ
ニクス ネット72.2

3 位 中澤 巧氏 (株)埼玉電算センター

ネット73.0

ベストグロス賞 岩崎 正氏

(公益社)埼玉県情報サービス産
業協会 グロス 81

(7) 人材確保・共同求人事業

①<平成24年度人材確保推進事業（埼玉労働局助成 事業）>

IT業界は優れた技術者の確保と人材育成は経営
基盤の根幹を成すものであります、優秀な人材確
保は現状の雇用情勢でもなかなか難しい環境にあり
ます。ゆえに、埼玉県の認定を受け雇用能力開発機
構の助成事業として、少子高齢化社会を展望し、よ
り魅力ある業界と成るべく所定労働時間の改善・年
休取得の向上・ライフワークバランス等の諸施策を
積極的に推進し、より魅力ある職場作りを目指して、
本件事業を3ヶ年計画の第3年度として取り組みま
した。

本年度は最終年度として

イ、雇用管理改善に資するため、ポスターを作成
し会員事業所に配布することにより、意識啓発
を図り、当該取組の促進を図った。

内 容：休暇取得に関するポスター作成

配布時期：6・10月作成配布

作成部数：各500部

□、学校と企業の就職関係交流会

会員事業主と大学進路担当者との意見交換会
を厚生労働省埼玉労働局の安藤よしこ局長を來
賓としてお迎えし開催された。

実施日：平成24年10月2日

参加者：49名

(会員企業20社29名・学校17校20名)

会 場：大宮サンパレス

ハ、会員事業所の事業主、人事担当者を対象にセ
ミナーを開催し会員事業所の採用活動の改善に
資した。

1、実施日：平成24年6月12日

会 場：パレスホテル大宮

テーマ：「日本の明日をかたる」

講 師：江利川 毅（前人事院総裁）

2、実施日：平成25年2月26日
 会 場：SSC
 テーマ「職場のメンタルヘルス対策」
 講 師：阿部 真弓（社労士）

二、当協会のイメージアップ・知名度 UP のため
 開催
 イベント名：「彩の国ビジネスアリーナ2012」
 実施日：平成25年1月30日～31日 2日間
 ホ、会報「SAI-PRESS」の発行
 発行回数：全4回（4月・7月・10月・1月）
 掲載内容：各種事業の取組状況及び推進事業報告・各種調査結果の概要等
 作成部数：1,200部

ヘ、「職場のメンタルヘルス対策」解説書の発行
 ・配布
 職場のメンタルヘルスに関する問題点についての解説書を作成し、会員事業所の労務管理の改善の一助とする

その他 研修事業など人材育成確保推進の諸事業を推進

②共同求人事業

- ・学校・企業求人関係懇談会：
 平成24年10月2日開催
 参加者：学校20名 会員29名 計49名

- ・合同就職説明会：
 平成25年3月6日 大宮ソニックスティにて開催
 参加者：600名
- ・研修合宿：平成24年11月27～28日 热海にて
 参加者：8名
- ・会員企業求人案内：
 平成24年4月「SAI-PRESS72号」に掲載

③インターンシップの受け入れ

- ・大学、専門学校、県内高等学校から職場実習を受け入れる。

(8) 会員増強運動

今年度は東日本大震災・IT不況などの影響もあり会員増強は不調であった。

目標：10社 実績：1社

おわりに

厳しい経済状況下、会員皆様のご協力・ご支援により「公益社団法人」として初年度の事業計画を着実に推進し出来ましたことを関係各位に厚く御礼申し上げます。これにて平成24年度事業報告を終わります。

<会議報告> 自：平成24年4月1日～至：平成25年3月31日

会議	開催日・場所	内容
総会 第1回	平成24年6月12日 「パレスホテル大宮」	会員数：正会員85社 平成24年6月11日現在 出席会員数：33社 委任状提出社39社 計72社 <議案> (承認事項) 第1号議案 平成23年度事業報告書案について 第2号議案 平成23年度収支決算書案について 何も原案通り可決
理事会 監事會 第1回	平成24年5月18日 「AGS(株)会議室」	[出席者] 理事19名中10名・監事2名出席 <議案> (承認事項) 1. 新入会員承認の件 2. 第1回総会議案について ・平成23年度事業報告書（案） ・平成23年度収支決算書（案） 何も原案通り可決

理事 監事會 第2回	平成24年10月2日 「大宮サンパレス」	[出席者] 理事19名中15名・監事2名出席 <議案> (承認事項) 無し
理事 監事會 第3回	平成24年11月22日 「エレクス(株)会議室」	[出席者] 理事19名中11名・監事2名出席 <議案> (承認事項) 無し
理事 監事會 第4回	平成25年1月17日 「パレスホテル大宮」	[出席者] 理事19名中17名・監事2名出席 <議案> (承認事項) 無し
理事 監事會 第5回	平成25年3月28日 「SSC会議室」	[出席者] 理事19名中13名・監事2名出席 <議案> (承認事項) 第1号議案 平成25年度事業計画書案について 第2号議案 平成25年度収支予算書案について 第3号議案 役員選任規則案について 何も原案通り可決

平成24年度収支決算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 入会金収入	500,000	100,000	△ 400,000
2 受取会費	12,260,000	13,747,000	1,487,000
3 事業収益			
(1) 事業収入人材育成事業	2,800,000	2,542,755	△ 257,245
(2) 事業収入地域情報化推進事業	2,275,000	1,718,000	△ 557,000
(3) 事業収入啓蒙普及事業	2,000,000	500,000	△ 1,500,000
(4) 事業収入産学官等交流事業	5,936,000	13,961,800	8,025,800
(5) 事業収入共同求人事業	420,000	252,000	△ 168,000
(6) 事業収入福利厚生事業	564,000	407,000	△ 157,000
4 受取補助金等	6,300,000	7,296,400	996,400
5 雜収益	100,000	165,746	65,746
経常収益合計	33,155,000	40,690,701	7,535,701
(2) 経常費用			
1 事業費	29,849,551	40,220,870	10,371,319
2 管理費	3,973,839	3,711,023	△ 262,816
経常費用合計	33,823,390	43,931,893	10,108,503
当期計上増減額	△ 668,390	△ 3,241,192	△ 2,572,802
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 668,390	△ 3,241,192	△ 2,572,802
一般正味財産期首残高	8,976,433	7,631,587	△ 1,344,846
一般正味財産期末残高	8,308,043	4,390,395	△ 3,917,648
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,308,043	4,390,395	△ 3,917,648

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(正味損益用)

(単位：円)

	当年度末	前年度末	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産	4,393,738	3,214,625	1,179,113
現 金	37,606	55,290	△ 17,684
預 金	303,637	311,635	△ 7,998
未 収 入 金	3,722,900	2,847,700	875,200
前払費用	329,595	0	329,595
2. 固定資産	68,381	4,487,022	△ 4,418,641
(1) 基本財産	0	2,100,000	△ 2,100,000
基本その他	0	2,100,000	△ 2,100,000
(2) 特定資産	0	2,250,242	△ 2,250,242
特定費用準備資金	0	2,250,242	△ 2,250,242
(3) その他固定資産	68,381	136,780	△ 68,399
器具及び備品	68,381	136,780	△ 68,399
資産合計	4,462,119	7,701,647	△ 3,239,528
II. 負債の部			
1. 流動負債	71,724	70,060	1,664
預 り 金	71,724	70,060	1,664
負債合計	71,724	70,060	1,664
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産			
2. 一般正味財産	4,390,395	7,631,587	△ 3,241,192
一般正味財産	4,390,395	7,631,587	△ 3,241,192
正味財産合計	4,390,395	7,631,587	△ 3,241,192
負債及び正味財産合計	4,462,119	7,701,647	△ 3,239,528

埼玉ネットワークサービス

お取引先(集金先)の取引金融機関から、早くそしてお安い料金で口座振替により各種代金を回収するサービスです

給与計算サービス

複雑な給与計算業務を代行するサービスです

コンサルティング業務

お客様のニーズに合ったソフトウェア開発、ハードウェア導入などシステム導入におけるトータルサポートを行います

プライバシーマーク取得支援

プライバシーマーク取得のための支援を行います

EBサービス相談

オフィスの合理化、資金管理の効率化を実現します

ソフトウェアの開発

パソコンソフトの開発を行います

パソコン及び周辺機器販売



BEST
SATISFACTORY
SUPPORT

武蔵野銀行グループ企業として、県民の皆様に役立つことを企業使命に、お客様に満足していただける最良のサポートを提供します

ぶぎんシステムサービス株式会社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-307
武蔵野銀行事務センター内
Tel (048)644-8510 Fax (048)642-9108

// <http://www.bugin-bss.co.jp>

正味財産増減計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金収入	100,000	0	100,000
受取会費	13,747,000	11,885,900	1,861,100
事業収益	19,381,555	12,695,083	6,686,472
人材育成事業	2,542,755	2,374,500	168,255
地域情報化推進事業	1,718,000	1,976,605	△ 258,605
啓蒙普及事業	500,000	1,500,000	△ 1,000,000
産学官等交流事業	13,961,800	6,719,310	7,242,490
共同求人事業	252,000	124,668	127,332
福利厚生事業	407,000	0	407,000
補助金等収入	7,296,400	6,763,500	532,900
雑収入	165,746	63,338	102,408
経常収益計	40,690,701	31,407,821	9,282,880
(2) 経常費用			
事業費			
人材育成事業費	29,188,033	20,571,250	8,616,783
地域情報化推進事業費	3,725,131	3,744,915	△ 19,784
調査研究事業	3,521,482	3,653,923	△ 132,441
啓蒙普及事業	28,155	46,570	△ 18,415
産学官等交流事業	703,975	420,087	283,888
共同求人事業	15,755,530	7,998,369	7,757,161
福利厚生事業	51,870	53,563	△ 1,693
新法人制度移行費	1,001,547	256,190	745,357
中小企業人材確保推進事業	0	777,620	△ 777,620
管理費	4,400,343	3,620,013	780,330
減価償却費	14,743,860	14,419,807	324,053
管理費	68,399	68,390	9
会議費	10,110,567	10,188,165	△ 77,598
地代家賃	1,495,419	871,252	624,167
負担金	2,454,375	2,677,500	△ 223,125
経常費用計	615,100	614,500	600
評価損益等調整前当期計上増減額	43,931,893	34,991,057	8,940,836
評価損益等計	△ 3,241,192	△ 3,583,236	342,044
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期一般正味財産増減額	△ 3,241,192	△ 3,583,236	342,044
一般正味財産期首残高	7,631,587	11,214,823	△ 3,583,236
一般正味財産期末残高	4,390,395	7,631,587	△ 3,241,192
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	4,390,395	7,631,587	△ 3,241,192

監 査 報 告

公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会 定款41条に基づき
同協会の平成24年度決算を監査しました結果、適正と認められ
ましたので承認致します。

平成25年4月24日

監 事： 日研システム 株式会社

水鳥 晴夫 印

平成25年4月24日

監 事： 三田電子ケイサン株式会社

橋本ヒテ子 印

役員改選

新任理事

(敬称略)

役 職	氏 名	会 社 名	会社役職名
理 事	栗 原 恒 司	ぶぎんシステムサービス株式会社	取締役社長
理 事	久 保 永 史	パシフィックシステム株式会社	代表取締役社長
理 事	深 澤 陽 平	蓼科情報株式会社	代表取締役社長
理 事	田 沼 耕 三	AGS プロサービス株式会社	代表取締役社長

※任期：定款第28条により平成26年定時総会終結までとする。

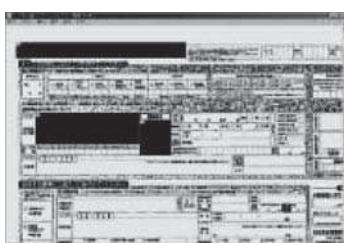
退任理事

(敬称略)

役 職	氏 名	会 社 名	会社役職名
理 事	沢 田 誠 一	ぶぎんシステムサービス株式会社	前取締役社長
理 事	増 古 恒 夫	パシフィックシステム株式会社	相談役
理 事	今 井 明	蓼科情報株式会社	専務執行役員
理 事	山 崎 喜久男	株式会社フジコミュニケーションズ	代表取締役社長



小川会長より退任される理事に感謝状を授与（左より今井前理事、小川会長、増古前理事、山崎前理事）



画像マスキング

個人情報保護対応 電子帳票アウトソーシング支援ソフトウェア SecureImageConverter2

御社のイメージファイルは**安全ですか?**
不安なことがありましたら御相談ください

- 弊社取り扱い製品の一部
- ・情報セキュリティ機能搭載イメージエントリーシステム EM2013
※仮想化+シンクライアント対応
 - ・クラウド対応イメージエントリーシステム ES2012
 - ・暗号化ソフトウェア OmegaCrypt2008
 - ・アウトソーシング支援ソフトウェア SecureImageConverter2
※カラー帳票認識機能搭載

株式会社
ハツコーエレクトロニクス

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-8
電話 03-5645-1561 FAX 03-5645-1563
<http://www.hatsucoh.co.jp>

理事就任挨拶

－副会長就任のご挨拶－

ぶぎんシステムサービス株式会社 栗原 恒司



この度、副会長に就任させて頂きましたぶぎんシステムサービス株式会社の栗原でございます。

弊社は地元、武蔵野銀行グループのシステム会社であります。

地域経済の発展と埼玉県情報サービス産業協会の活動にお役に立ちたいと思っております。

皆様のご指導、ご協力を賜りますよう併せてお願い申し上げます。



－専務理事就任のご挨拶－

AGS プロサービス株式会社 田沼 耕三



この度、理事に就任致しましたAGS プロサービス株式会社の田沼と申します。同時に業務執行として専務理事を拝命することになりますて、身の引き締まる思いでございます。

幸いにも、長きに亘り当協会に貢献されておりまます、前専務理事の岩崎様が副会長に就任されましたので、大船に乗ったつもりで業務執行に精進してまいります。

日本経済には、一部明るい兆しが見え始めておりますが、それをIT業界が実感するまでには、今暫く時間が要するのではないかでしょうか？ しかしながら、WindowsXP問題・消費税増税・マイナンバー制度など当業界にとっての商機も見込まれます。

今後微力ではございますが、公益社団法人埼玉県情報サービス産業の発展のため、精一杯頑張ってまいりますので、会員の皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

－副会長就任のご挨拶－

パシフィックシステム株式会社 久保 永史



パシフィックシステム(株)の久保と申します。このたび前任の増古に代わり副会長を拝命する事になりました。宜しくお願い申し上げます。

昨年末から景気回復への期待感が大いに高まっておりますが、各企業の情報化投資は、まだまだ抑制傾向にあると感じております。先般、マイナンバー制度の導入が決まりました。どれほどの特需？になるか分かりませんが、情報サービス業界の活性化に大いに寄与して欲しいものです。

最近、様々な分野でICTの利活用ということがクローズアップされて来ております。埼情協の活動を通して、企業、地域社会のICTの利活用力アップに寄与できればと考えております。

何分、この様な役目は初めてでございますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

－理事就任のご挨拶－

蓼科情報株式会社 深澤 陽平



平成25年6月13日に開催されました第2回通常総会において前任の今井に代わり理事に選任されました。宜しくお願ひいたします。

昨年までは、広報部会に会員の一員として参加しておりましたが、今年度より理事として、広報部会長の立場からも協会に少しでもお役にたてればと思っております。あらためて言うまでもなく、私たちを取り巻く環境は常に変化しています。企業の興味もイノベーションへの投資へと移ってきてます。ソーシャル系システム、クラウド系ソリューション、スマートフォン・アプリ、スマートコミュニティ等々、ソフトウェアビジネスに変革をもたらす大きな波がいくつもやってきてます。

こうしたさまざまな成長戦略や変革の波を考えると、公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会の役割はますます重要になってくると思われます。私も微力ながら、これまでに得た知識と経験を活かし、協会と協会の会員企業の発展、さらにはソフトウェア業界の発展のために寄与して参りたいと思っております。皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

ITの上流工程から下流工程までワンストップサービスをご提供

SOLPAC

@M-ASP®

株式会社ソルパック

〒106-0032
東京都港区六本木4-1-4
黒崎ビル 8階
TEL: 03-3585-4616
FAX: 03-3585-9190
URL <http://www.solpac.co.jp>

■ コア業務への経営資源の集中
■ 質の高いサービスの享受
■ 組織のスリム化・効率化
■ 定量コストの低減
■ 雇用リスクの回避

Business Process Outsourcing

人材サービス **Jobnitty** システムインテグレーション データ処理

株式会社 **日東テクノブレーン** <http://www.nitto-tech.co.jp>
0120-977-837

NCS

創業 1968 年のソフトウェアハウス

ノグチコンピュータサービス株式会社

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1085-15
TEL 048(824)1099 FAX 048(824)1090

E-mail ncs@ncsnet.jp
URL <http://www.ncsnet.jp/>

業務アプリケーション開発
ERP業務アプリケーションカスタマイズ
Web関連
ホームページ作成・ネットワーク構築
システムの構築・サポート
データ入力処理

～ご用命は信頼と実績の当社まで～

『和』を大切にします
NIKKEN SYSTEM
日研システム株式会社

5つの事業を展開しています！！！

- コンサルティング
- システムインテグレーション
- ネットワークサービス
- コンテンツクリエイト
- パッケージ

10821196(04)

日々の研鑽により技術の向上に努め、
より良い技術サービスを提供します。

日研システム株式会社

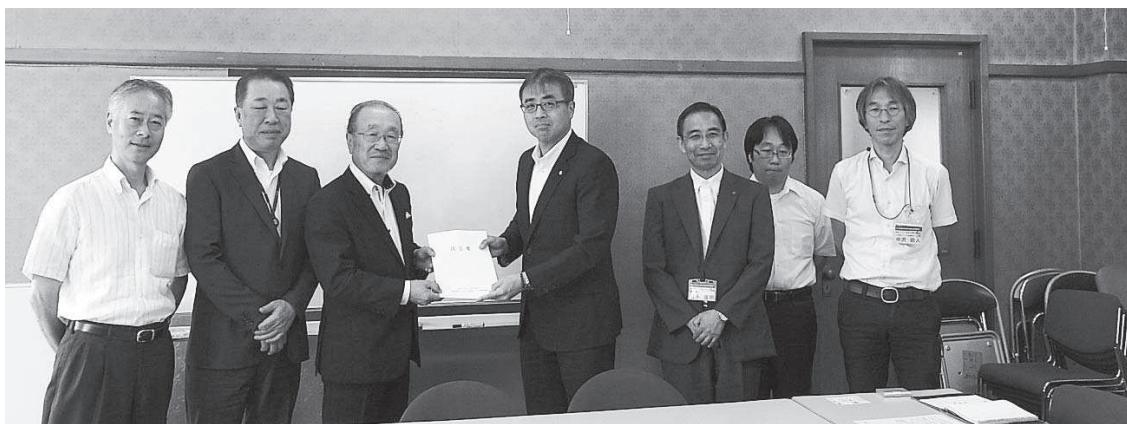
〒160-0004
東京都新宿区四谷 4-32-1 吉岡ビル 6 F
TEL 03-3341-3971 FAX 03-3341-3973
メール ns-info@nikkensystem.co.jp
URL <http://www.nikkensystem.co.jp/>

埼玉県への情報化推進に関する提言書提出

安倍政権は、日本経済の再生に向け、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略という3つの政策を、「3本の矢」として同時展開していくこととし、3つのプランが6月14日閣議決定されました。ICT関連を総括する総務省では、グローバル展開を視野に入れつつ、ICTを日本経済の成長と国際社会への貢献の切り札として活用する方策等を様々な角度から検討するため、総務大臣が主宰する「ICT成長戦略会議」を25年2月に立ち上げ、ICTが、新たな富の創出や生産活動の効率化に大きく貢献し、国民生活を便利にするものであり、経済成長のための重要な鍵と認識されました。このような背景を踏まえ、公益社団法人「埼玉県情報サービス産業協会」として、今後、少子高齢化や人口減少、環境問題等の課題を解決し、ICTによる地域活性化及び新事業創出等の検討・推進を加速し、一段と高いICT先進県となるため、6月28日(金)窓口である埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課新里課長に岩寄副会長より提出いたしました。



新里課長(右)に岩寄副会長より提出



4つの事業領域から拡がる無限の可能性と新たな展開に挑戦します。

★アウトソーシングサービス
★アプリケーション開発

★パッケージソリューション
★Webインテグレーション

Tic 株式会社 ティー・アイ・シー

◆本社 〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷1-16-13 日本生命越谷ビル
TEL 0489-89-2111 FAX 0489-89-2333
URL <http://www.ticstage.co.jp>

・(社)埼玉県情報サービス産業協会会員
・FCA(富士通系情報処理サービス業グループ)会員
・昭和シェル石油(株)サテライトセンター
・富士通パートナー

平成25年6月28日

埼玉県

知事 上田 清司 様

公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
会長 小川 修一

埼玉県への情報化推進に関する提言

1. はじめに

2012年7月に総務省から公表された「24年度版情報通信白書」特集において、東日本大震災の教訓、人口減少、高齢化の進展等の様々な課題に直面する中、ITが果たす役割が日本再生の道筋であるとの認識が示されました。

さらに、2012年6月に公表された「埼玉県5か年計画」においては、ITの普及に向けて、真に利用者の視点に立った情報やサービスの提供を一層進めていく方向性が明記され、その個別施策である「第4次埼玉県IT推進アクションプラン」においても、ITを「県民の視点に立った政策実現のためのツール」として位置づけ、最新技術を活用し、「利便性の向上」、「安心・安全の確保」、「行政効率化への推進」に取り組むことが示されております。

このような情報化推進の動きの中で、地元埼玉県を中心情報サービス産業関連企業約100社余の会員数をもつ公益社団法人「埼玉県情報サービス産業協会：以下、協会」というとして、より一層、地域経済振興・地産地消型ビジネスを高め、真の意味でIT産業がリーディング産業となるため、地域連携事業等をさらに推進・強化していく所存です。本提言書は、協会会員各社の代表的な意見を集約しましたのであり、埼玉県様をはじめ関係する行政・団体のご支援をお願いいたします。是非、埼玉県様のIT関連予算策定、施策見直し時等に取り上げていただきご検討賜りたい。

2. 埼玉県における情報サービス産業のポジショニング、現状認識

経済産業省「特定サービス産業実態調査」2012年度版の地域別情報サービス産業の規模によると、埼玉県の規模、順位は以下の通りとなっています。

○売上高・・・1,385億円（全国シェア0.7%で第10位）
：前年11位

（参考：千葉2,326億円（全国シェア1.2%で第7位）

（　〃：茨城1,396億円（全国シェア0.7%で第9位）

○事業所数・・・423カ所（全国シェア1.9%で第9位）
：前年同様9位

（参考：千葉340カ所（全国シェア1.5%で第11位）

（　〃：茨城286カ所（全国シェア1.3%で第14位）

○従業者数・・・8,563人（全国で第13位）：前年12位
（参考：千葉12,635人（全国で第7位）

（　〃：茨城10,670人（全国で第10位）

以上のデータから埼玉県においての情報サービス産業の現状は、まだまだ近隣諸県と比較して低位にあると考えます。

背景には、「スマート革命」が促すIT産業・社会の変革が進み、近年のSNS、ツイッターなどの新しいコンテンツやクラウド型のビジネスモデルの普及で、私たちの生活環境や仕事の形態が大きく変化してきており、従来のビジネスモデルに限界が見えはじめてきております。このような新しいトレンドが起こる中で、埼玉県の情報サービス産業が新たなITの戦略的価値を地域の企業・公共組織に提供できるリーディング産業としての役割を強化するため、当協会も公益法人化を契機にランクアップに全力で協力していきたい。

3. 提言内容

（1）提言1・・・

東日本大震災の教訓から、埼玉県の各企業が実感した地域的な優位性を活かし、最先端のITを活用した安全・安心で未来志向の街づくりを促進する必要があります。

そのために、優先的に取り組む施策として、まず、「安全・安心の確保」のため、県内企業、地方自治体の事業継続計画（BCP）策定比率の向上、強化推進をさらに図る必要があります。

① 被災を契機に地方公共団体でもインターネットの活用を強化したり、事業継続計画（BCP）策定の動きはあるが、BCP策定状況は、都道府県レベルで約40%、市町村では3.5%にとどまっている（24年度情報白書）。

一方、民間企業でも認知は高まっているものの、策定済み企業は、大企業で30.9%、中小企業では8.6%と策定率が低く企業規模によって格差は大きい（帝国データバンク）。特に、「BIA（事業影響分析）」、「教育訓練」、「維持改善」等が実施されている例は少なく、ITサービス継続マネジメントシステムがまだ確立されていない。

是非、県内の関係企業、地方公共団体等に対し、ITサービス継続の重要性を再認識するため、重要業務と復旧手順を定めたBCP対策を策定する企業・地方公共団体数が増加するよう補助金制度適用も含めてご検討いただきたい。

（2）提言2・・・

全国的に少子化・高齢化が急速に進む中、政府は団塊世代の多くが後期高齢者となる2025年までに、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスが受けられる社会の実現に取り組むという「社会保障・税一体改革大綱」を閣議決定しました。埼玉県においても、引き続き、県民だれもが安心して心豊かにすごせる地域社会の実現を目指して、1人の患者に対して包括的なケアサービスを受けられるよう医療環境面においてもITをさらに活用する必要があります。

① 埼玉県の人口は、2010年1月現在、717万人と年間では3.2万人増加していますが、2020年には700万人を下回り、高齢化率も28.3%となる（国勢調査）と想定されています。このような中、我が国では、医療分野のIT化は国のIT戦略の重要な施策に位置づけ、特にシームレスな地域連携医療システムは長崎県（あじさいネット）や島根県（医療ネット島根）他、全国各地で具体的な取り組みが始まっています。

います。

② 埼玉県においても、2012年7月にから本格稼働した利根医療ネットワークシステム（愛称：とねっと）は、埼玉県東北部の「利根保健医療圏」において地域の医療機関が役割を分担連携し、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を目指した体制確立にIT技術を活用して実現をしている。このような取り組みをさらに県内に広げていただき、医療・介護・予防・生活支援などのサービスが身近な地域で提供される仕組み作りに引き続きITを活用し推進していただきたい。

(3). 提言3・・・

ITの高度化が進む中、クラウドサービス・データセンターを活用した仕組み等を活用し、地域活性化連携事業の推進さらに新たなビジネスモデル創出等を目指し、あらゆる機会を通じて、地域IT需要の創出を図る必要があります。

① 埼玉県情報サービス産業協会も加入している全国組織である一般社団法人「情報サービス産業協会（以下JISA）」は、24年5月に「23年度地域活性化事業」を総括し小冊子にまとめました。主な内容は、地域におけるベンダー・ユーザー・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域自らが「自立自走」の精神でITの「地産地消」を実現する必要があるとの現状認識から、県単位に各種地域活性化事業、地域連携事業を推進してきております。

当協会も2011年10月より埼玉県様等のご支援を受けて、「IT利活用による地域活性化」を共通テーマに検討を開始し、当事業では、当協会が先頭に立ち、会員企業の事業領域拡大に役立つことも目指し、埼玉地区の行政・支援機関と連携した活動を進めております。

本年度も、さいたまビジネスアリーナでの商談会を通じての情報発信、支援機関情報交流の活性化推進、ベンダーから地域に向けたアプローチのための諸企画を実行する等のテーマを掲げ取り組んでおります。

協会としても、さらに地域のIT利活用の地産地消実現を実効あるものにするために活動を強化してまいりますが、その推進には行政機関のご協力が不可欠であります。お互いの役割に応じて「政策の実施」、「連携体制の構築」「ユーザーへの情報発信」等の協業を加速するため、埼玉県様におかれてもより一層のご支援をお願いしたい。

(4). 提言4・・・

「IT人材白書2012」のメッセージとして～進むクラウド、動かぬIT人材～と明示されており、新たな技術パラダイムや事業モデルに必要な能力が不足していることが課題と認識されている。この対応力を強くするために、シニア世代や女性の活用も含め、人材の「質」の向上を図るために、当協会の活用を推進する必要があります。

① 東日本大震災を契機に、ITの「所有」から「利用」へのパラダイムシフトが起きていることを特に最近感じています。その関係もあり、BCPへの関心が高まり、検討が進み始めました。その結果、クラウドコンピューティングの様々なサービスが進展し、ビックデータに代表されるようなデータ活用の拡大、それらを利用した新たなビジネス

展開が始まっていることは、前述したとおりです。

しかしながら、その環境変化に伴う付加価値を提案・生み出す「技術力」が特に中小企業およびベンダーで不足しているのが実態です。そこで、地域IT人材育成、IT企業支援を目的に設立された(株)さいたまソフトウェアセンターが残念ながら2012年3月末に解散しました。よって、その任務を当協会が継続して行いたく、行政側のご支援をいただきたい。

(5). 提言5・・・

電子申請・届出サービス、電子的納付対象税の拡大や自治体クラウドの構築を一層推進し、ITを活用した県民生活の利便性の向上を実感できる環境をさらに推進する必要があります。

① 埼玉県の県税納付は24年度から開始された自動車税（当初納付分）をはじめ税・手数料関連が電子的納付がほとんど可能となっているが、さいたま市をはじめとして固定資産税や市町村民税関連の電子納付対応が近隣諸県市町村と比較し、劣位にあると認識しています。（県内では北本市のみ実施、一部導入の動きあり）

そこで、埼玉県のIT利活用の推進と県民サービスの拡大を図るため、市町村民税関連への電子納付環境を早期に構築するよう市町村をご指導願いたい。

② 今回の震災で戸籍等が津波によって流失し、住民サービスの再開等に混乱をきたした事例が発生した。このため、低コストで迅速な行政機能の復旧を可能とする観点から自治体クラウドの早期導入を図る必要があります。

その際、個人情報保護を最大限配慮しつつ、災害時における行政サービスや医療サービスを連携させることができるものも検討が必要と考えます。

4. 最後に

2011年3月に公表された「第4次埼玉県IT推進アクションプラン」の中で、ITサービスによる更なる利便性の向上、県民生活の安心・安全の確保、新しいIT技術を活用した行政効率化の推進が明記され、「情報」が命を守るライフラインであることが認識されております。

今後、少子高齢化や人口減少、環境問題等の課題を解決し、ITによる地域活性化及び新事業創出等の検討・推進を加速し、一段と高いIT先進県となるため、IT推進アクションプランの具体的な進行状況を個別施策別に広く解りやすく県民に情報を公報等にて開示（見える化）していただきたい。

さらに、第5次のアクションプラン作成においては、当協会としてもあらゆる機会を通じて継続して提言を実施し、自らも地域IT産業が真のリーディング産業となるよう努力してまいります。

埼玉県様におかれても、引き続き県民の意見をさらに吸収して、「地域住民本位」、「地域自立型」、「多様な連携型」の政策パラダイムの転換をさらに図り、地域社会発展のための先導役として推進をお願いしたい。

以上

(参考：各種個別データ)

順位	都道府県	年間売上高 (億円)	構成率 (%)
1	東京	119,437	63%
2	大阪	14,832	8%
3	神奈川	14,602	8%
4	愛知	8,599	5%
7	千葉	2,326	1%
9	茨城	1,396	1%
10	埼玉	1,385	1%
18	群馬	812	0%
25	栃木	377	0%
46	佐賀	84	0%
47	奈良	53	0%
	全国計	188,437	100%
順位	都道府県	事業所数	構成率 (%)
1	東京	8,868	39.3%
2	大阪	2,329	10.3%
3	神奈川	1,319	5.8%
9	埼玉	423	1.9%
11	千葉	340	1.5%
14	茨城	286	1.3%
19	群馬	208	0.9%
22	栃木	158	0.7%
45	鳥取	48	0.2%
46	佐賀	43	0.2%
47	奈良	16	0.1%
	全国計	22,554	100%
順位	都道府県	従業者数	構成率 (%)
1	東京	490,445	53.8%
2	大阪	87,884	9.6%
3	神奈川	79,338	8.7%
7	千葉	12,635	1.4%
10	茨城	10,670	1.2%
13	埼玉	8,563	0.9%
18	群馬	5,569	0.6%
25	栃木	2,782	0.3%
45	鳥取	834	0.1%
46	佐賀	825	0.1%
47	奈良	312	0.0%
	全国計	912,284	100%

順位	都道府県	事業所あたり従業員数(人)
1	神奈川	60.2
2	東京	55.3
3	大阪	37.7
4	茨城	37.3
5	千葉	37.2
10	愛知	29.2
12	群馬	26.8
18	山梨	25.1
29	埼玉	20.2
38	栃木	17.6
46	和歌山	15.6
47	山形	15.5
	全国平均	40.4

順位	都道府県	事業所あたり売上高(百万円)
1	東京	1,346.8
2	神奈川	1,107.0
3	愛知	703.1
4	千葉	684.3
6	茨城	488.1
14	群馬	390.3
19	埼玉	327.5
25	山梨	273.5
31	栃木	238.7
45	長崎	172.5
46	島根	169.4
47	香川	168.4
	全国平均	835.5

順位	都道府県	一人あたり 売上高(万円)	構成率(%)
1	東京	2,435	4%
2	愛知	2,411	4%
3	鳥取	1,876	3%
4	千葉	1,841	3%
5	神奈川	1,840	3%
9	埼玉	1,618	3%
16	群馬	1,458	2%
21	栃木	1,356	2%
24	茨城	1,308	2%
38	山梨	1,091	2%
46	沖縄	881	1%
47	福島	868	1%
	全国合計	64,328	100%
	全国平均	2,066	

—彩の国が誇る技術が結集！— ＜彩の国ビジネスアリーナ2014＞を開催！



彩の国ビジネス
アリーナ2013
(2013.1.30~31)



今年で10回目を迎えた記念すべき「彩の国ビジネスアリーナ2013」は、1月30日(水)、31日(木)さいたまスーパーアリーナ(さいたま市)において埼玉県・公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会・財団法人埼玉県産業振興公社・地元6金融機関の主催にて開催されました。

本イベントは、中小企業の受注確保・技術力向上等を目的とし、広域的な企業ネットワーク形成による取引・技術交流の促進、新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

本年は、昨年を上回る783小間の展示ブースを設け、「次世代産業」、「加工技術・部品」、「製品」、「ITソリューション」、「エネルギー・環境」、「グローバルビジネス」と、多様なゾーンを展開し、556企業・団体が出展した。

また、「次世代産業ゾーン」では、招待出展企業として、「宇宙航空」、「次世代自動車」、「医療福祉」、「エネルギー・環境分野」の先端企業様に最新の技術・製品を展示され、出展者や来場者との交流を図られた。

当協会は地域連携事業の一環として、従来の「IT・情報通信」を改名し「ITソリューションゾーン」を設営し、37社45小間が出展、特設のプレゼンコーナーでは6社がプレゼンスを行うとともに「IT何でも相談コーナー」を設置しIT利活用の推進・企業IT動向調査を実施した。

来場者は2日間で16,478名(初日:8,823名、2日目7,664名)という過去最高を記録するなど、企業間取引における国内最大級の展示商談会となった。

会場内講演会場では当協会主催で「中小企業のビジネス革新」と題して、ソフトバンク・モバイル社の首席エヴァンジェリストの中山五輪男氏による講演を開催150人余の参加を得た。

また、同時開催イベントとしてウーマノミクスフェア、产学連携フェアをはじめ、下請取引改善講習会、埼玉県ビジネス懇談会、ながのモノづくり技術展、九都県市合同商談会、产学連携促進会といった多数のイベントが催され、会場は大いに盛り上がった。

今年度も2014年1月29・30日＜彩の国ビジネスアリーナ2014—彩の国が誇る技術が結集！—＞を開催いたします。

当協会は地域活性化連携事業として2011年より「埼玉IT活用経営支援ネットワーク会議」を立ち上げ、地域企業に対し様々な経営支援活動を行っている行政・商工団体・商工会など「支援機関」や中小企業診断士・ITコーディネータなどの専門家組織と協力し「IT活用経営支援」にかんする情報共有を図り効果的な成果獲得を目指しております。会員企業の皆様のご参加をお願いいたします。

＜彩の国ビジネスアリーナ2014実施要領＞

1 実施目的

中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上を促進するため、広域的な企業間連携等による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する。

2 実施名称 彩の国ビジネスアリーナ2014

3 実施日時

平成26年1月29日(水) 10:00~18:00・
30日(木) 10:00~17:00

4 実施場所 さいたまスーパーアリーナ (埼玉県さいたま市中央区新都心8番地)

5 主催機関

埼玉県、公益財団法人埼玉県産業振興公社、公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫

6 実施概要

- (1) 出展者による技術・製品・サービスの展示
出展者が自社製品・加工品を展示し、自らの技術力を積極的にアピールするとともに、来場者との商談や出展者間における情報交換・商談等を行う。
- (2) セミナー・講演会の実施
最新の技術動向や企業経営に資するテーマのセミナー・講演会を開催する。

7 同時開催イベント

- (1) 広域商談会

発注企業と出展者が面談形式により、具体的な発注案件に基づいた商談を行う。

(2) 産学連携フェア・産学連携促進交流会

工科系大学及び研究機関の研究テーマ・成果を基に共同開発等に向けた情報交換を行う。

(3) 東部工業展

埼玉県東部商工地区および近隣地域の工業者による技術・製品の展示。

8 出展対象

原則として、埼玉県及び隣接都県に事業拠点を有する企業・団体等

9 出展規模想定 700小間

10 来場者数想定 16,000人

11 運営事務局

彩の国ビジネスアリーナ2014実行委員会事務局

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

ソニックシティビル10F

(公財)埼玉県産業振興公社内

TEL: 048-647-4086 FAX: 048-645-3286

E-mail: assen@saitama-j.or.jp

Assuring Growth and Success with IT

[ITで、確かな成長と成功を]

- アウトソーシングサービス
- IDCサービス
- ASPサービス
- ソフトウェア開発
- パッケージソフト・機器販売
- マルチペイメント共同利用センター

お客様とともに
未来を創造し、
ITで夢のある社会づくりに
貢献します



AGS 株式会社

www.ags.co.jp

本社――

〒330-0075
埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL: 048-825-6000 FAX: 048-822-7337

東京本社――

〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビル4階
TEL: 03-3984-8471 FAX: 03-6386-0911

浦和ソリューションセンター――

〒336-0027
埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階
TEL: 048-839-5611 FAX: 048-877-3500

「こんなことができたらいいな」という想いを実現します

<第18回彩の国ホームページコンテスト2013> 開 催

私達公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会は平成24年度全国に先駆けて公益法人としての認可を受け、地域経済進展・高度情報化促進のために諸事業に取り組んでおります。

今年度も情報通信事業推進の啓蒙普及活動の一環として、第18回目となり認知度も向上し県内はもとより全国各地よりも参加をいただいている「彩の国ホームページコンテスト2013」を実施いたします。

いまやネット社会は、あらゆる生活シーンに入り込んでおります。そして、欲しい情報がネットから簡単に取得する事が可能になり、誰でも簡単にアクセスする事ができるようになりました。さらに、ブログ、Twitter、Facebook 等で、企業や団体だけではなく、個人として情報を発信する人も着実に増加の一途をたどっております。

本年も、更にパワーアップして埼玉県、さいたま市、総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、厚生労働省埼玉労働局並びに各種団体及び企業のご後援・協賛のもとに、半年間にわたる公募活動を行い、優秀作品については平成26年1月表彰式を行い、インターネット上の紹介を行う予定です。

この趣旨をご理解のうえ、関係各位にはご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



(実施要領)

募集期間：平成25年9月1日より10月10日
(当日消印有効)

応募部門：小中学の部、高校・専門学校・
大学の部、一般の部、シニアの
部、協会会員の部

賞：埼玉県知事賞、さいたま市長賞、総務
省関東総合通信局長賞、経済産業省関
東経済産業局長賞、厚生労働省埼玉労
働局長賞、各スポンサー賞

詳細は以下のホームページをご参照下さい
<http://www.sisia.or.jp/hpc/>

多数の応募を
お待ちして
います！



地域連携事業

埼玉県自治体クラウドセミナー開催報告

ビジネス部会長 矢吹 武重

平成25年度地域連携事業の一環として、平成25年6月28日(金)に埼玉県県民健康センターにおいて「第一回さいたま自治体クラウドセミナー」が開催されました。これは埼玉県情報サービス産業協会が初めて開く地方公共団体向けのセミナーです。目的は2つあり、公益社団法人として、情報サービスに関する最新情報を地方公共団体の皆様方にお届けするとともに、会員企業のソリューションを展示・紹介し、県内自治体と連携を強化し、埼玉県の情報サービス産業の発展に寄与するということです。

現在はインターネット等により、市町村の方々は各種の情報を収集することは容易になってまいりました。しかしながら逆にそれら情報が多くすぎて有用な情報の選別が難しい状況であると言えます。また、各企業が公開している情報は概要的な情報が多く、各企業にコンタクトしないと詳細な情報は入手できないようになっています。RFIなどにより情報入手することは可能ですが、各種事業実施検討のための情報収集には手続きが大変になるという一面もあります。これらの状況を踏まえ埼情協がその間に入ることにより、最新の情報システムにおける詳細な情報を提供してまいりたいと思考致します。

今後とも各自治体の皆様のご意見を聴取しながら、テーマを検討し、詳細な情報発信をしてまいりたいと考えております。また、共に情報共有の観点より連携強化して県内情報サービス産業の発展に寄与していく所存です。

埼玉県自治体クラウドセミナー 地方自治体 ICT 利用課題解決に向けた 最新クラウド利用事例研究会

主催：公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会
(埼玉県IT活用経営支援ネットワーク会議)
後援：埼玉県
開催地：埼玉県県民健康センター大会議室AB
開催日：平成25年6月28日(金)
9:00～17:00



セミナー会場 会議室A

11:00 事例発表

「マイナンバーの最新状況について」

富士通株式会社 シニアエキスパート
八木橋 亮雄氏

13:00 基調講演

「地方自治体クラウド利用」

- 新たな最適化としてのクラウド利用研究
株式会社流通戦略研究所 代表取締役社長
岡積 正夫氏
- 「自治体クラウドモデル」
株式会社流通戦略研究所 斎藤 岳人氏
- クラウドベースによる新オフィス基盤
株式会社ユー・エス・イー 吉村 秀隆氏

14:30 研究発表

「住民サービス強化と自治体業務効率化を目指した
パブリッククラウド利用」

- 住民とつながる行政の新しいカタチ
株式会社セールスフォース・ドットコム
高田 大資氏



15:00 研究発表

「パブリッククラウド・BYODを利用した業務効率化事例」

- パブリッククラウド・BYODを利用した業務効率化事例
株式会社ユー・エス・イー
- 市における防災情報共有システムの導入事例
株式会社ユー・エス・イー 平田 能久氏

16:00 事例発表

- 自治体クラウドサービスで実現する『BCP 対策』

『コスト削減』『マイナンバー対応』

AGS 株式会社 中西 弘幸氏

- 飛躍的に効果をもたらす帳票環境の見直しと整備
ミツイワ株式会社 橋 明夫氏

- クラウド時代の自治体におけるセキュアな印刷基盤構築事例

株式会社シー・イー・シー 嘉藤 謙介氏

- 庁舎内のインフラセキュリティ環境を自動パトロールしてリスクを可視化

ミツイワ株式会社 岩間 誠氏

展示会場 会議室 B (案内状より転載)

展示1：富士通株式会社

テーマ：クラウド方式による施設予約システム

内 容：

「施設予約システム e-Pares」クラウド方式による自治体様向け施設予約システムのデモンストレーション並びにご紹介をいたします。

「e-Pares」は、地域の文化施設やスポーツ施設などの予約情報、イベント情報等を一元管理する施

設情報管理システム。効率的な施設管理業務から、質の高い利用者サービスまで、幅広くサポート致します。

展示2：AGS 株式会社

テーマ：自治体クラウドについて

内 容：

弊社ブースでは、コスト削減や災害対策など様々なメリットをもつ自治体クラウドを自治体様でどのように活用すべきかについて、ご紹介いたします。気軽に立ち寄りください。また、16時からのセミナーでは、マイナンバー制度導入のメリットや自治体クラウド導入についての様々な不安などについてお答えできる事例をご紹介いたします。

展示3：有限会社エイ・ケイ・システム

内 容：

スマートフォンを利用した、コミュニティバスや通園バスを簡単・安価で導入できるバスロケーションシステム「BusGO！」と、地域の様々な情報を統合した安心生活ナビシステム「ちきなび」をご紹介します。

展示4：ミツイワ株式会社

内 容：

(1)飛躍的な効果をもたらす帳票基盤環境の見直しと整備の事例を紹介します。(2)クラウド時代の自治体におけるセキュア印刷基盤構築の事例を紹介します。(3)庁舎内のインフラセキュリティ環境を自動パトロールしてリスクを可視化、リスクと経費を削減する事例を紹介します。



展示5：有限会社エフ・ディ・エス

テーマ：ITコーディネータの支援業務事例 特定
非営利活動法人埼玉ITコーディネータとの協働

内 容：

- (1)情報システム調達適正化支援事例（県内の人口7万の市役所の総合行政システム更新）他社の汎用システムからノンカスタマイズPKG導入を実現。大幅なコストダウンと自治体クラウドへの第一歩。
- (2)自治体“情報セキュリティポリシー”を、形だけにしない為の策定支援と職員の意識教育を応援いたします。

展示6：関東図書株式会社

内 容：

- (1)ウェブブラウザでコンテンツを編集・表示、それをもとに自動組版で印刷物を作成（外郭団体での事例）
- (2)PDFをもとに作成する本をめくるようなウェブコンテンツ（さいたま市・戸田市での事例）
- (3)建物の内部などを360°閲覧出来るパノラマウェブコンテンツ（外郭団体での事例）

展示7：パシフィックシステム株式会社

内 容：

使用電力の「見える化」を提供します。クラウドと無線を利用し、低コスト・セキュアな節電の計画／実施／評価を「見える化」し、会社やご家庭での節電意識も高めることができます。

展示8：株式会社ゲットワークス

テーマ：自社設計・開発したBCP対策用コンテナの紹介

内 容：

コンテナDCの導入・活用による、災害に強いクラウド環境とは。

その他、PC・サーバーデータバックアップシステムの紹介

当日の参加者は自治体関係10団体19名、一般法人14社26名及び出展各社の参加でセミナー会場は満席の状態でした。また、セミナーの休憩時間には会議室Bにおいて会員企業出展ブースの希望者によるミニセミナーが行われました。

今回は第一回ということで、まだまだ課題は多いかと思いますが、今後ネットワーク会議参加の支援機関の皆様や、埼玉県をはじめとする各自治体の皆様方のご意見を頂戴し、発展させていきたいと考えております。

引き続き会員企業、支援機関、各自治体の皆様のご支援を頂戴したいと思います。



株式会社アイネット_(urawa)

TEL: 048(839)5177 FAX: 048(839)5788

〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沿影1-10-1 URL: <http://www.inetweb.co.jp/>
ラムザタワー4階



INET
urawa
株式会社アイネット

- ソフトウェアの設計、製造、システムの管理、運営、業務
- ソフトウェア等の入出力データの作成業務
- ソフトウェア等に関するコンサルテーション

@ホームな職場です
そして社員一人一人がさわやかです

さあレッツ!!! アクセス!!!

はじめに

2012年度は、携帯電話（スマホ含む）の出荷台数が前年比2.2%減となる反面、タブレットの出荷台数は104.3%の増となっている。出荷台数は携帯電話がタブレットの7.3倍とまだひっくり返るまでにはいかないが、急速な伸びが續けば追いつくのも時間の問題ではないかと思われます。

タブレットの伸びは端末で扱うデータ量（表示量）が多くなってきている象徴です。ネットワークを介して色々な人が色々なデータをやり取りしています。そのデータは「クラウド」というモヤモヤした仕組みの中にドンドンたまっていきます。最近ではこのたまたまデータを「BIG DATA」と称し、各ベンダがビジネスチャンスへ結び付けようとしています。

当部会でも「BIG DATA」をメインテーマに今年度の研鑽を進めていきます。データの分析手法や分析したデータの使い方などビジネスにつながるヒントを探していくたいと思います。

当部会メンバーは会社の中では最も多忙な方ばかりです。しかし、どんなに忙しくとも月半日だけは参加して、他社で同じ様な環境で頑張っている人達と熱いディスカッションをしたい、それを出来る場所がSISIAにある… それを実現するのが我々の夢です。

SISIAの会員企業の社員で、当部会のテーマに関心がある方、我々と熱いディスカッションをしたい方はSISIA事務局迄ご連絡ください。ご参加をお待ちしています。

開催日時：2013年3月26日(火) 16:00～17:00

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：鬼澤喜一、加藤健治、上原隼人、小林裕一郎（順不同、敬称略）

1. 内容

- 『SNS+選挙＝？？？』

(発表者：AGS 株式会社 上原隼人氏)

(1) ネット選挙について

(2) ネット選挙解禁でできること

- ・Web サイトでの選挙活動
- ・有料ネット広告
- ・電子メールでの選挙運動

(3) 各党の方針

- ・電子メールの取扱いで差異がある

(4) ネット選挙に関する意識調査

- ・約半数が賛成

(5) ネット選挙の課題

- ・「なりすまし」や「ホームページ改ざん」「発言のねつ造」「誹謗中傷」など

(6) ネット選挙の課題に対する対策

- ・Web やメールへの連絡先表示の義務付け
- ・プロバイダ責任制限法の改正
→プロバイダへの発言削除依頼対応を7日から2日へ短縮
→不当発言は消さずに、自らの発言で取り消す方法もある

(7) 海外では

- ・韓国では2012年4月総選挙からネット選挙を行っており、不正発言に関しては「不正監視団」が24時間体制でチェックを行っていた
- ・米国はネット選挙先進国

(8) おわりに

- ・ウェブを利用して政治家に語りかけ、政治を自らの手で動かす

開催日時：2013年4月11日(木) 16:00～17:00

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：鬼澤喜一、徳澄範光、後藤拓、加藤健治、一戸英男、斎藤俊博、上原隼人、小林裕一郎（順不同、敬称略）

1. 内容（司会：鬼澤会長）

- (1) 今年度のメインテーマの検討
 - ・Big Data

(2) 発表月と発表者の決定（敬称略）

- ・5月 徳澄（ブレーンアシスト）
- ・6月 一戸（ネットマーベラス）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ・7月 後藤 (ソルレパック) | (3) 役割分担の決定 (敬称略) |
| ・8月 井本 (デジタルイノベーション) | ・部会長 鬼澤 |
| ・9月 小林 (AGS) | ・副部会長 德澄、小林 |
| ・10月 加藤 (パシフィックシステム) | ・開催係 上原 |
| ・11月 合宿 | ・グループメール管理 後藤 |
| ・12月 斎藤 (VOLVO IT JAPAN) | ・議事録管理・サイプレス 斎藤／小林 |
| ・1月 上原 (AGS) | ・メンバー拡大担当 德澄 |
| ・2月 鬼澤 (ソルレパック) | ・合宿担当 井本、加藤、一戸 |
| ・3月 遠藤 (日東テクノブレーン) | |

開催日時：2013年5月9日(木) 16:00～17:00

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：徳澄範光、一戸英男、後藤拓、上原隼人、小林裕一郎（順不同、敬称略）

1. 内容

- 第1テーマ『第2回電王戦を考える』
(発表者：ブレーン・アシスト株式会社
徳澄範光氏)

- (1) 今回の電王戦結果
・ソフトウェアの3勝1敗1分

- (2) 人間対コンピュータの歴史
・1989年 チェスでの対戦が始まり
・1989年、1990年は人間が接戦で勝利
・1996年、1997年

- (3) 将棋における対決は
・第1回電王戦は米長邦雄 vs 将棋ソフト「ボンクラーズ」
⇒プレマッチ、本戦とも将棋ソフトの勝ち
・第2回電王戦は前述のとおり3勝1敗1分

- (4) 使用されたソフト
・第2回電王戦では「GPS 将棋」が使用された
・処理速度は1秒間に2億8千万手先を読む
(ボンクラーズは1800万手)
・過去20年の棋譜が蓄積されているが、今回データベースに無い新手で勝っている

- (5) コンピュータは人に近づいたのか
・蓄積されたデータから新たな方法を導き出す事が出来てきている
・感情表現が無ければ、まだ人には遠い

● 第2テーマ『ネット選挙を考える』

- (発表者：ブレーン・アシスト株式会社
徳澄範光氏)

- (1) ネット選挙への自由意見
・有権者からのメール送付はそんなにナーバスにならなくても良い
・有料ネット広告は資金力のある政党が有利となる
・SNSは費用があまりかからない、ホームページは結構高額
・政治家はFacebookよりツイッターを良く使う
・コミュニティはFacebook、発信はツイッターと使い分けている



損害保険代理店
生命保険代理店

SISIA グループ保険の総合窓口 048-827-5077(24時間対応)

株式会社デマンドアンドコミュニケーションズ
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤1-2-24-1301

行事報告 (平成25年4月～6月)

	日付	行 事 名	担当部会等	参加者	場所・時間
4 月	3日	広報部会	広報部会	6名	蓼科情報(株)会議室 9:00～
	10日	生活サポート産業支援事業支援機関会議	事務局	専務理事	埼玉県産業公社 9:00～
		ビジネス部会	ビジネス部会	12名	SSC403会議室 15:00～
		広報部会	広報部会	7名	事務局 15:50～
	16日	ANIA 拡大理事会	事務局	専務理事	東京国際フォーラム 15:00～
	17日	求人部会	求人部会	6名	事務局 15:50～
	24日	会計監査	事務局	4名	事務局 10:30～
5 月	10日	ビジネス部会	ビジネス部会	14名	事務局 13:00～
	14日	日経懇話会	事務局	専務理事	パレスホテル 16:30～
	15日	HP コンテスト部会	HP コンテスト部会	3名	事務局 15:00～
	16日	求人部会	求人部会	8名	AGS(株)会議室 15:00～
	17日	第6回理事(監事)会	事務局	13名	大宮ソニック808号室 15:00～
	21日	埼玉県自治体クラウドセミナー説明会	ビジネス部会	事務局長	県民健康センター 15:30～
	22日	広報部会	広報部会	6名	蓼科情報(株) 15:00～
	28日	ビジネスアリーナ実行委員会	ビジネスアリーナ実行委員会	2名	埼玉県産業振興公社 14:00～
	31日	ANIA 第2回拡大理事会	事務局	専務理事	京都 15:00～
6 月	3日	電波の日記念式典	事務局	専務理事	グランドパレス 10:00～
		ビジネス部会	ビジネス部会	11名	事務局 15:00～
	5日	産学連携事例発表会	事務局	専務理事	埼玉大学 14:30～
	7日	首都圏情報団体協議会	事務局	事務局長	千葉情協 10:30～
	12日	コンピュータソフトウェア協会総会	事務局	専務理事	コンチネンタル東京 11:00～/15:00～
		情報サービス産業協会総会			
	13日	第7回理事(監事)会	事務局	21名	大宮サンパレス「華宴」 12:00～
		第2回定時総会		31名 委任状 33社	大宮サンパレス「クラージュ」 14:00～
		第8回理事会		19名	大宮サンパレス「ダイヤリー」 14:40～
		講演会		35名	大宮サンパレス「クラージュ」 15:00～
	14日	HP コンテスト部会	HP コンテスト部会	4名	事務局 15:00～
	15日	ビジネス部会ゴルフコンペ	ビジネス部会	10名	こだま神川カントリークラブ 8:00～
	19日	研修教育部会	研修教育部会	事務局長	事務局 14:00～
	20日	損害保険説明会	事務局	事務局長	事務局 14:00～
	21日	千葉県情協記念交流会	事務局	専務理事 事務局長	ポートプラザ千葉 16:00～
	25日	求人部会	求人部会	8名	パシフィックシステム(株)会議室 15:50～
	28日	埼玉県自治体クラウドセミナー	ビジネス部会	副会長	県民健康センター 9:00～

会 員 企 業 動 向

<住所変更>

○株式会社デジタルイノベーション

〒340-0053 埼玉県草加市旭町6-9-6

TEL: 048-942-1354

ご要望に応じた能力開発セミナーのご案内

オーダーメイド型セミナーの ご案内

ポリテクセンター埼玉では、公開中のセミナーの他、企業事業主団体様のお要望に応じたオーダーメイド型のセミナーを承っています。

人材育成の課題を抱えている皆様のサポートをいたします。

セミナーの例

●言語のマスター

構造化プログラミング:C言語

オブジェクト指向プログラミング:Java言語とUML

●データベース技術

SQLとその実装など

●その他

テスト技術、開発手法など

★オーダーセミナー計画のポイント

①会場は原則的に当センターですが、出張セミナーも対応します。

②1セミナー12時間以上(1日6時間以上として2日以上)です。連続しない日程でも可能です。

③定員はご相談に応じます。(協力会社、系列会社、個人グループも可能です。)

④受講料は、教材および当センターが定める諸経費を含めてご提示します。(実施事例:C言語4日コース 14,500円、DB2日コース 10,500円)
*ご相談の内容によっては、ご要望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

《お問い合わせ先》

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機

ポリテクセンター埼玉

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8

訓練第二課 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

PACIFIC SYSTEMS

パシフィックシステム株式会社

本社 〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19
TEL 048-845-2200 FAX 048-845-2260

熊谷センター 〒360-0826 埼玉県熊谷市赤城町3-1-1
TEL 048-521-3522 FAX 048-521-3524

URL <http://www.pacific-systems.co.jp/>

・産業界の求める人材を育成

学校法人中央情報学園グループ校



中央情報専門学校

Chuo Computer and Communication College

先端技術を担う人材を育成し25年

■ITプロフェッショナル学科 ■情報システム学科 ■Webビジネス学科 ■日本語本科
352-0001 埼玉県 新座市 東北 2-3-10 TEL 048-474-6651 FAX 048-475-1814

URL <http://www.ccmc.ac.jp/>



早稲田文理専門学校

国際社会で活躍するクリエイティブな人材を教育

■ビジネス起業経営学科 ■日中英通訳学科 ■ITモバイル学科
■ゲーム・アニメ制作学科 ■組み込みソフトウェア学科

171-0033 東京都 豊島区 高田 2-6-7 TEL 03-5960-2611 FAX 03-5960-2622

URL <http://www.wbc.ac.jp/>



- データエントリーサービス
- ファシリティマネジメントサービス
- ソフトウェア受託開発

株式会社 埼玉電算センター

本社 〒360-0846 熊谷市拾六間770 TEL 0485-33-3551

事業所 熊谷・大宮・坂戸・新潟

Eメール info@sdc-inc.co.jp <http://www.sdc-inc.co.jp/>

機器販売・導入サービス

コンサルティングサービス

～情報から価値を創造する～

ソフトウェア開発

保守・運用サービス



AGSビジネスコンピューター株式会社

(旧 株式会社シーピーシー)

〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11 さくらビル
TEL : 048-824-5080 FAX : 048-824-5419 URL : <http://www.ags-bc.co.jp>

写真集・歌集・句集・画集・小説・自分史・エッセイなど



関東図書株式会社



〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10

0120・161092 <http://www.kanto-t.co.jp>

あなただけの
1冊を創ります



ELECS
CLOUD SOLUTION PROVIDER

Cloud Solution Provider

私達の願いは情報サービスで人類の未来に貢献する事です。

お客様の目的に合わせて、柔軟なITリソースを提供し、「計画・設計・運用・効果測定」まで含めた、すべてのプロセスをサポートします。

タブレットもスマホも得意です。



WEBソリューション・システム開発 / デザイン制作 / スマートフォン /
アプリ開発 (iPhone、Android) / AR開発 (拡張現実システム) / テスト事業

本社 : 〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-6-19 高砂パークスペースビル TEL:050-5509-4555 FAX:048-815-8167 www.elecs-web.co.jp/

協会加入の
あああめ

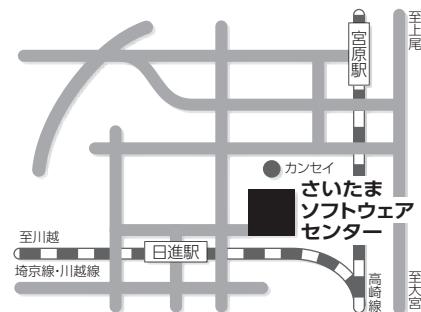
会員募集中

公益社団法人として、地域経済振興、情報高度化に向けて積極的な活動を推進しております。新たなステップに向けて仲間を募集しております。

会員企業並びに関連団体の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会



住 所

〒331-0823
埼玉県さいたま市北区日進町
2丁目1864-10 SSC 5F
TEL 048-660-1761
FAX 048-654-4504

U R L

<http://www.sisia.or.jp/>

<IT なんでも相談室>

経済振興・経営革新にIT利活用が大きな課題となっております。

政府・県も様々なIT関連施策を計画しておりますが、当協会でも中小企業の皆様のITに関するお悩み、IT投資など様々な問題についてご相談に応じます。

場所：〒331-0823 さいたま市北区日進町2丁目1864-10

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 事務局内



受付相談 専用電話 048(660)1788

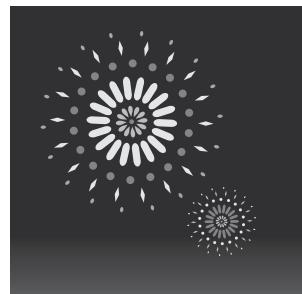
編集後記

わが国の景気は昨年末に底入れし、回復傾向が明確化してきたのではないかと言われております。アベノミクスの第1の矢である「大胆な金融政策」、第2の矢である「機動的な財政政策」、そして第3の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」により持続的な成長軌道を取り戻し、デフレ脱却を成し遂げるというのですが、半年間の評価はいかがなものでしょうか。我々庶民にとっては、家計所得の増加が一つの評価材料になるのではないかと思っております。円安の進行により、食品（食用油、小麦粉等）を中心に4月に続く再値上げを行なう状況であり、所得増加の前の家計圧迫は持続的な成長戦略に陰りが出てきているように感じられます。アベノミクスの成否は、賃金の持続的上昇ができるかによると思っています。

さて、本号の重要な記事の一つとして「第2回定

時総会」の記事が掲載されています。公益法人としての第1回目の決算報告です。1.人材育成事業 2.地域情報化推進事業 3.調査研究事業 4.啓蒙・普及事業 5.産・学・官交流事業 6.福利厚生事業 7.人材確保・共同求人事業 等々、様々な事業を限られた予算の中で着実に実行してまいりました。これも会員皆様の献身的なご協力の賜物であります。本年度も引き続きご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

（深澤）



SAI-PRESS 編集委員

岩 寄 正 (TSサービス)

内 田 陽 一 (協会事務局長)

小 川 智 之 (関東図書)

田 沼 耕 三 (協会専務理事)

平 野 友 紀 (メディア工房)

編集長 深 泽 陽 平 (蓼科情報)

松 島 獻 (デマンドアンドコミュニケーションズ)

吉 野 曠 男 (AGSシステムアドバイザリー)

矢 吹 武 重 (ミツイワ)

★サイプレス年間広告掲載料

◇1頁 24万円 ◇1／2頁 12万円
◇1／4頁 6万円 ◇賀詞広告 1.5万円
(以上モノクロ。カラーは1頁30万円のみとなります)

★ホームページバナー広告（会員の場合）

◇6ヶ月 5千円 ◇1年間 1万円
サイズ 156×46ピクセル
容 量 15KB以内

（いざれもデータ支給の場合。協会制作の場合は別途料金申し受けます。）